

政策調整会議の概要

開催日 平成 30 年 8 月 8 日（水）

◎項 目

- 1 所属別時間外勤務の状況について【総務部】
- 2 包括協定の締結について【産業振興推進部】
- 3 各部局等の主要な取り組みについて【各部局等】

◎内 容

1 平成 30 年度 6 月の時間外勤務の状況について【総務部】

総務部より平成 30 年度 6 月の時間外勤務に関する説明及び協議が行われた。

（総務部）

全庁的に時間外勤務が増加している。突発的な事象が生じたり、本年度に入り新たな施策の実施等に時間を要している部局がある一方で、恒常的な業務で時間外勤務が増加している部局も見られる。

引き続き各部局において、時間外勤務の状況を確認し、業務が一人の職員に偏ることがないように、業務分担の見直しなど体制上の配慮をお願いします。

（副知事）

なぜ時間外勤務が増えたのか、その要因をしっかりと分析し、仕事への取り組み方の検証や効率化を図り、全体的な時間外勤務の縮減を目指して取り組むこと。

2 包括協定の締結について【産業振興推進部】

産業振興推進部より包括協定の締結に関する説明及び協議が行われた。

（産業振興推進部）

県では、現在 34 の企業等と包括協定を結んでいる。本年 9 月 5 日には、新たに株式会社サニーマートと包括協定を締結する予定。同社からは、県内に広がる子ども食堂への食材の提供や、地産地消の強化、女性の活躍の促進など、様々な面において県との協働を深めていきたいとの意向をお示しいただいている。

協定締結に向けて、相互に連携・協力する取組項目について、幅広い提案を各部局にお願いします。

3 各部局等の主要な取り組みについて【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の主要な取り組みに関する資料を配付のうえ、各部局等による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

○平成 30 年度大規模地震時医療活動訓練について

（健康政策部）

8 月 4 日（土）、内閣府の主催により、南海トラフ地震を想定した医療活動に関する実働訓練を実施した。

県外から 70 チームの DMA T が参加し、県庁内に災害医療対策本部を設置するとともに、室戸市に医療救護所を、高知市の潮江南小学校に避難所を開設し、県内の 24 病院で院内訓練を行った。本県以外でも、徳島、香川、大分、宮崎で同様の訓練を実施。

また、8 月 31 日（金）には、同訓練の第 4 回関係者全体会を開催し、訓練の関係者等から訓練実施に伴う各種報告等を行うこととしている。

○第 27 回まんが甲子園について

(文化生活スポーツ部)

8月4日、5日に第27回まんが甲子園が開催された。

国内外から301校が参加し、海外からも韓国、台湾、シンガポールから29校が参加するなど、盛観に催された。最優秀校は高知商業高校であり、県勢の優秀賞獲得が19年ぶりということで、非常に盛り上がった。

○「志国高知 幕末維新博」スクラッチキャンペーンの実施について

(観光振興部)

現在開催中の幕末維新博のメイン会場と地域会場の全25会場において、スクラッチカードを配布し、カード内の3ヵ所を削って出た点数の合計により県内での宿泊ギフト券5万円分などの景品が当たるキャンペーンを実施する。幕末維新博終盤の誘客に向けた取り組みの一環として、来年1月31日まで実施。

○よさこいアンバサダー招聘について

(観光振興部)

よさこいアンバサダー招聘制度も今年で3年目を迎えた。

過去2年で13カ国、15チーム42名を認定している。本年も明日8月9日に認定式を開催し、アメリカ、カナダ、ブラジルの3カ国、5チーム14名を認定する予定である。

この取り組みを通じて、「よさこい発祥の地」高知を海外に発信していきたい。